

復旧天使ProfessionalによるUSBメモリーキーのイメージ取得方法

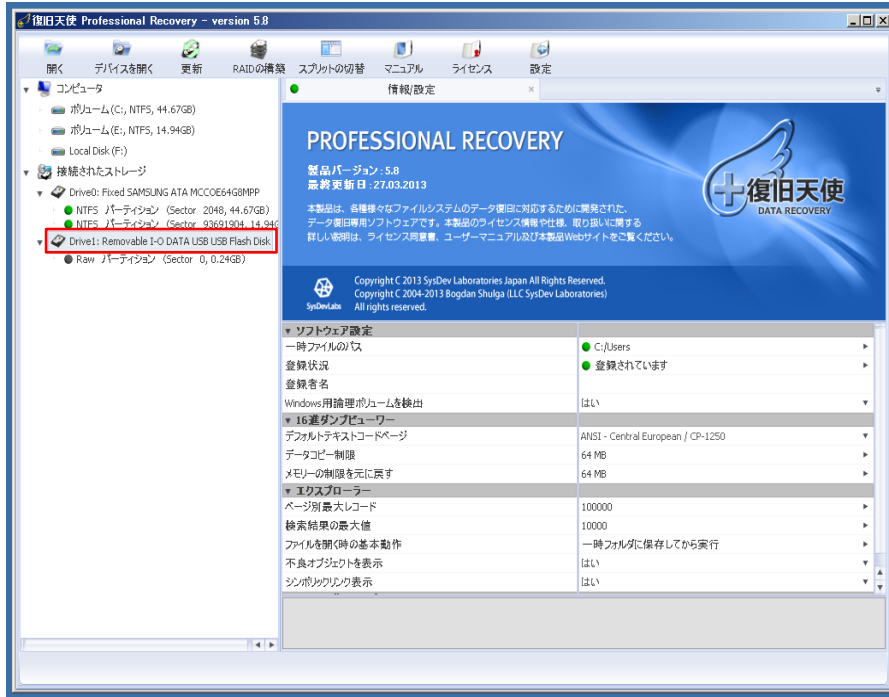
復旧天使Professionalを使用して、I/O DATA 暗号化キー抽出サービスのご利用に必要なUSBメモリーキーのイメージ取得方法をご案内致します。

1. USBメモリーキーをコンピュータに接続し、復旧天使Professionalを起動する

IODATA製HDL-GTRシリーズのUSBメモリーをNAS本体から取り外し、復旧天使Professionalがインストールされている作業用コンピュータに接続した後、復旧天使を起動します。

※USBキーをコンピュータに接続した際、USBメモリーをフォーマットする旨のメッセージが表示される場合がありますが、フォーマットしないようご注意ください。

復旧天使上でUSBメモリーキーのボリュームが表示されていることを確認します(下図参照)。



2. USBメモリーキーからイメージを取得する

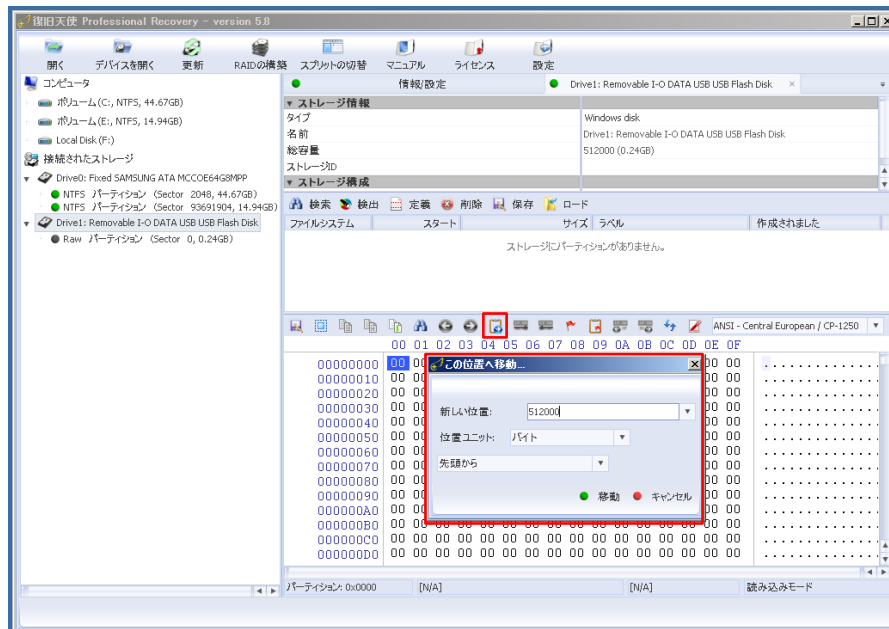
(1) 復旧天使Professionalに表示されているUSBメモリーをダブルクリックし、16進ビューを表示させます。

(2) ツールバーの「この位置へ移動」またはショートカットキー「Ctrl+G」を押して、位置入力ウィンドウを開き、以下の通りに入力します。

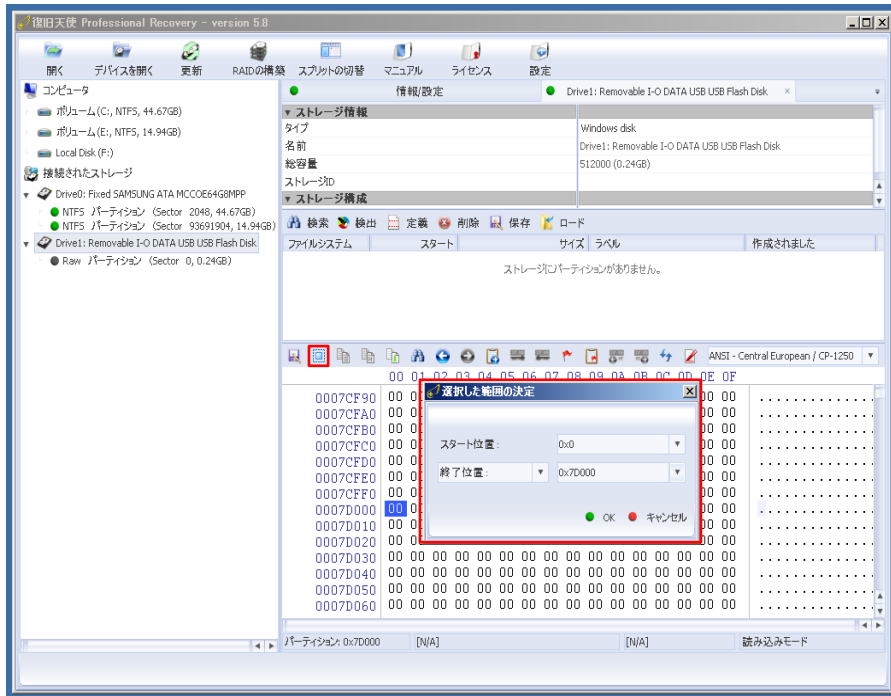
新しい位置：512,000

位置ユニット：バイト

開始位置は「先頭から」を選択(下図参照)

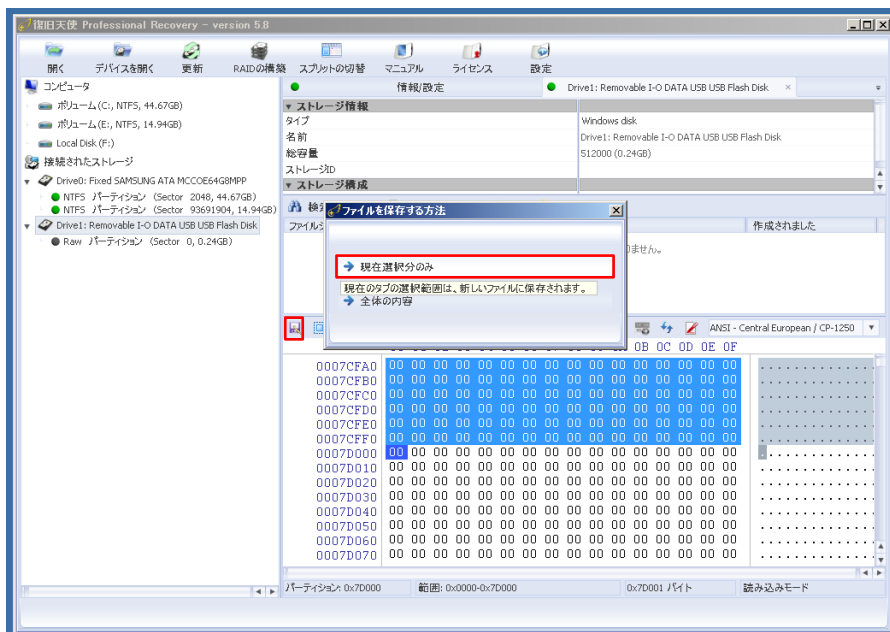


- (3) 指定の位置(7D000)にカーソルが移動していることを確認し、ツールバーで「範囲の選択」またはショートカットキー「Ctrl+R」を押し、「選択した範囲の決定」画面を表示させます。
画面のバイト数プルダウンメニューを「バイト数→終了位置」に、右の16進表記のプルダウンメニューで「カーソル位置」を選択すると、16進表記は「0×7D000」に変更されます。

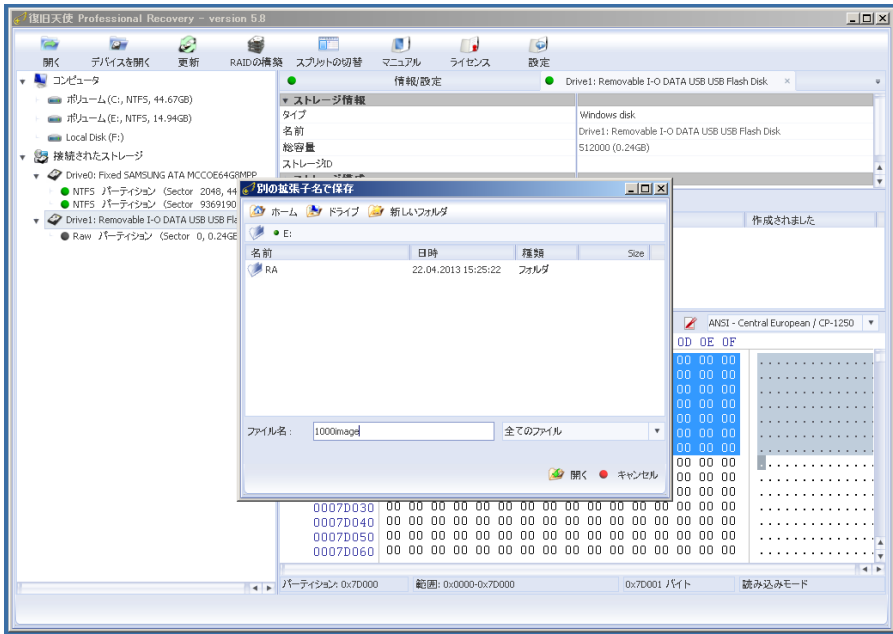


確認後、OKボタンを押すと、指定範囲が選択されます。

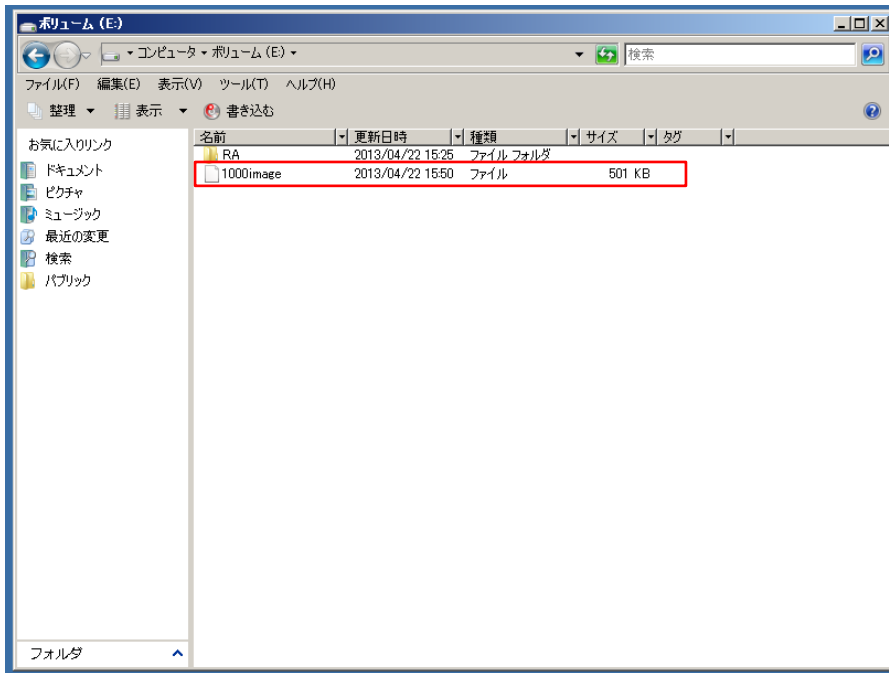
- (4) 選択範囲を別名で保存します。
ツールバーの「別名で保存」またはショートカットキー「Ctrl+Shift+S」を押し、「ファイルを保存する方法」の画面を表示させ、「現在選択分のみ」を選択してください。



「別の拡張子名で保存」画面で保存場所と保存ファイル名を選択し、保存します。



指定した保存場所にファイルが保存されていることを確認してください。



以上でイメージ取得は完了です。